



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2221 URL <https://www.iwatsukaseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 阿部 雅栄 TEL 0258-92-4111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,313	△2.0	239	60.4	2,614	26.9	1,785	26.8
2019年3月期第3四半期	17,669	△2.7	149	△32.5	2,060	17.0	1,408	21.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,142百万円 (ー%) 2019年3月期第3四半期 △1,818百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	318.69	—
2019年3月期第3四半期	251.40	—

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり四半期純利益の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	84,281	62,341	74.0	11,125.12
2019年3月期	76,525	56,322	73.6	10,051.01

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 62,341百万円 2019年3月期 56,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期 (予想)				26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	△0.8	200	—	2,470	31.1	1,700	29.7	303.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,995,000株	2019年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	391,295株	2019年3月期	391,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,603,705株	2019年3月期3Q	5,603,767株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国など海外経済の減速や消費税増税の影響等から景況感が下押しされ、労働需給の逼迫もあって、引き続き厳しい局面が続きました。今後は、消費増税の影響が限定的と見られることや、米中交渉も漸く進展を見せていること等から、一部で業況改善への期待感が聞かれるものの、新型コロナウイルスの影響懸念が高まるなかで、先行き不透明な状況が続くとの見通しにあります。

米菓業界におきましては、総合スーパー・百貨店の停滞やコンビニエンスストアの飽和感があるなか廉価なドラッグストアやディスカウントストアが伸長、流通構造の変化に伴い価格競争が一層激しさを増しており、原材料や物流費等のコストアップ要因も大きく、厳しい事業環境が続いております。

このような経営環境にあって、当社グループは今年度からの新たな中期経営計画「プライド・BEIKAプラン」により持続的成長の実現に向けた基盤づくりに取り組むとともに、「誇りをもって美味しさを創造しよう!」をスローガンに掲げ、これからも「美味しさと品質」を重視していく方針にあります。このための重要な施策として新工場「BEIKA Lab」の建設に着手、お客様目線での商品開発を目指しております。

営業部門では、国産米100%使用をアピールした差別化を進め、特に季節を捉えた新米仕込みの企画商品を広く展開し「旬」を訴求、岩塚ブランドの美味しさの浸透に努めるとともに、「田舎のおかき」や「岩塚の黒豆せんべい」等のTOP6商品の伸長に注力してまいりました。

製造部門では、積載方法の見直しによる物流コストの削減などコストアップ要因を吸収するための取組みのほか、生産品目の集中や品質の安定化に注力することで生産性の向上に努め、原価低減を図ってまいりました。また、賞味期限延長対策やプラスチック資材の削減など環境負荷の軽減にも努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、前年同期比減収増益となりました。売上高は173億13百万円（前年同期比2.0%減）となり、最需要期である第3四半期の健闘により減収幅を縮めてきているものの、まだ第1四半期の落込みをカバーするに至りませんでした。営業利益は、引き続き製造・販売コストの削減に努め2億39百万円（同60.4%増）と回復傾向を示すことができ、経常利益は26億14百万円（同26.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億85百万円（同26.8%増）となりました。

なお、経常利益に関しましては、当社が株式を保有するWANT WANT CHINA HOLDINGS LIMITED.からの株式配当金22億48百万円を営業外収益の受取配当金に計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は842億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して77億56百万円の増加となりました。

流動資産は80億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億68百万円の増加となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が8億44百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は762億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して68億87百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価等により62億50百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、219億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億37百万円の増加となりました。

流動負債は、29億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億51百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が1億47百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は189億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億88百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等に伴い繰延税金負債が19億17百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、623億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して60億19百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が16億62百万円、その他有価証券評価差額金が43億33百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年11月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2020年2月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,834,393	860,799
受取手形及び売掛金	3,843,785	4,450,295
商品及び製品	161,714	223,001
仕掛品	122,785	66,112
原材料及び貯蔵品	1,174,784	2,018,885
その他	148,766	539,285
貸倒引当金	△76,835	△80,258
流動資産合計	7,209,395	8,078,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,217,186	4,102,892
その他(純額)	4,074,966	4,871,751
有形固定資産合計	8,292,153	8,974,644
無形固定資産		
	98,687	81,964
投資その他の資産		
投資有価証券	59,495,500	65,745,814
その他	1,458,852	1,430,559
貸倒引当金	△29,106	△29,151
投資その他の資産合計	60,925,246	67,147,223
固定資産合計	69,316,086	76,203,831
資産合計	76,525,482	84,281,953
負債の部		
流動負債		
買掛金	772,541	678,071
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	268,196	288,352
賞与引当金	295,597	148,190
その他	1,765,789	1,636,047
流動負債合計	3,102,125	2,950,662
固定負債		
退職給付に係る負債	1,162,953	1,176,983
繰延税金負債	15,462,078	17,379,380
その他	475,454	433,040
固定負債合計	17,100,487	18,989,404
負債合計	20,202,612	21,940,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	13,660,997	15,323,043
自己株式	△1,066,406	△1,066,406
株主資本合計	16,088,590	17,750,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,312,058	44,645,541
退職給付に係る調整累計額	△77,779	△54,291
その他の包括利益累計額合計	40,234,278	44,591,249
純資産合計	56,322,869	62,341,886
負債純資産合計	76,525,482	84,281,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	17,669,152	17,313,139
売上原価	11,114,890	10,777,829
売上総利益	6,554,262	6,535,310
販売費及び一般管理費	6,404,926	6,295,769
営業利益	149,336	239,541
営業外収益		
受取利息	32,018	29,610
受取配当金	1,799,673	2,280,428
その他	111,373	95,485
営業外収益合計	1,943,065	2,405,525
営業外費用		
支払利息	1,650	570
たな卸資産廃棄損	4,788	6,107
休止固定資産費用	22,559	17,448
その他	2,596	6,118
営業外費用合計	31,594	30,245
経常利益	2,060,807	2,614,821
特別利益		
固定資産売却益	23	199
投資有価証券売却益	632	—
特別利益合計	656	199
特別損失		
固定資産除却損	45,481	34,665
投資有価証券売却損	—	616
特別損失合計	45,481	35,282
税金等調整前四半期純利益	2,015,982	2,579,738
法人税、住民税及び事業税	549,160	750,655
法人税等調整額	58,030	43,252
法人税等合計	607,190	793,907
四半期純利益	1,408,792	1,785,831
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,408,792	1,785,831

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,408,792	1,785,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,240,118	4,333,482
退職給付に係る調整額	12,452	23,488
その他の包括利益合計	△3,227,666	4,356,970
四半期包括利益	△1,818,874	6,142,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,818,874	6,142,802
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。